

(その1)

	あつみまち		〒999-7292 西田川郡温海町大字温海戊577番地1			TEL 0235 (43) 2111		FAX 0235 (43) 4632		
	温海町		類型	- 3	地域指定等	過疎 山村 辺地 農工 電源 拠点都市				
	地名由来	近世以来の郷村名による。(古書「温海文書」によれば、温海川の河中に熱湯が噴出して「海も温(ぬる)む」ということが由来とされている。)					町の木、花、鳥、魚 スギ、マルバシャリンバイ、ヤマガラ、クロダイ			
地勢	庄内地方の西南端に位置し、海岸線の長さ約16kmを一边としたほぼ正方形に近い形をしている。総面積の約9割が山林で、その中を4つの河川が平行して日本海に注いでいる。気候は、一部海岸線は温暖であるが、他は一般に寒冷で積雪も多い。									
地域の特性	開湯1000年といわれる名湯・温海温泉をはじめとし、庄内海浜県立自然公園に指定されている日本海の海岸線には立岩、弁天島などの景勝地、念珠の松庭園等、観光の町として現在に至る。山林面積が町全体の約89%を占め、その中に29の集落が点在しており、農林水産業を基幹産業としながらも建設業や製造業、観光を中心としたサービス業などにより地域の振興を図っているが、近年特に過疎化が進んでおり、少子高齢化対策にも力をいれて取り組んでいるところである。									
沿革	昭和29年12月1日 温海町、福栄村、山戸村、念珠関村合体									
区 分		人 口 (人)	世帯数(世帯)	高齢化率(%)	総 面 積		林野面積割合	可住地面積割合	D I D s 人 口(平成12年国調)	
昭 和 40 年 国 調		17,456	3,896	8.2	255.40km ² (県内11位)		89.3%	9.6%	- 人 (県内-位)	
昭 和 50 年 国 調		14,438	3,674	12.8	昼夜間人口比(平成12年国調)	89.2% (県内21位)	人口密度(平成12年国調)		41.5 人/km ² (県内33位)	
昭 和 60 年 国 調		13,255	3,157	17.2	産業別就業人口(平成12年国調)			住民基本台帳人口(平成14年3月末)	有権者数 (平成14年6月2日)	
平 成 2 年 国 調		12,350	3,388	21.1	第一次産業	590 人	11.1%	男 5,106 人	男 4,155 人	
平 成 7 年 国 調		11,518	3,312	25.6	第二次産業	2,112	39.6	女 5,728	女 4,738	
平 成 12 年 国 調		10,608	3,122	29.7	第三次産業	2,629	49.3	計 10,834	計 8,893	
同 上 県 内 順 位		24位	23位	3位	計	5,331	100.0	出 生 率 (平成13年)	7.4 ‰ (県内27位)	
農業粗生産額(平成12年)		126 千万円 (県内42位)		製造品出荷額等(平成13年)		408 千万円 (県内37位)		年間商品販売額(平成11年)	770 千万円 (県内29位)	
三役	町 長 佐 藤 正 明 (任期 平成17年 10月 24日 1期目)				議 会	議 長 本 間 毅		党派別議員数(平成14年6月1日)		
	助 役 榎 本 竹 司 (任期 平成18年 3月 31日 1期目)					副議長 佐 藤 龍 夫		無 所 属 17 日 本 共 産 党 1		
	収入役					議員定数 18人(法定定数 26人)		議員任期 平成15年4月30日		
行政組織機構	町長	助役	総務課・企画観光商工課・町民課・健康福祉課・農林水産課・建設環境課・上下水道課						職員数 (平成14年4月1日)	
			診療所						一般行政	90 人
		収入役	収入役室						特別行政	33
	議 会	事務局	農業委員会	事務局	公平委員会(委託)		公営企業等	20		
	教育委員会	事務局(1課)	選挙管理委員会	事務局	固定資産評価審査委員会		病 院	-		
			監査委員	事務局			水 道	6		
							その他	14		
(平成14年4月1日)									合 計	143
一部事務組合加入状況		山形県消防補償等組合(44市町村) 山形県自治会館管理組合(44市町村) 山形県市町村職員退職手当組合(9市31町村) 鶴岡市ほか六箇所衛生処理組合(1市6町村) 山形県市町村交通災害共済組合(2市26町村) 庄内広域行政組合(2市12町村) 鶴岡地区消防事務組合(1市6町村)								
協議会加入状況		庄内地区視聴覚教育協議会(2市12町村)								
財 産 区										
公社及び主要第三セクター		温海町土地開発公社 (株)クアポリス温海								

温海町の紹介

(その2)

特性を活かした行政活動と最近の状況		今年度実施される「湯のまちリフレッシュ事業」をはじめ、すでに整備された念珠の松公園、大清水公園など観光のまちづくりに加え、しな織り、温海かぶといった特産品のPR等も積極的に推進している。また、日本海側屈指の規模を誇る鼠ヶ関マリーナにおいては、2001年の国際FJ級選手権大会をはじめ毎年各種ヨット大会を招致し、シンボルスポートであるヨットの振興を図っているほか、ふるさと体験交流事業や都市地域若者交流事業をはじめとした地域間交流や中国黒龍江省尚志市との国際交流、加えて町内に伝わる伝統芸能の保存・伝承・後継者育成などにも力を入れるなど、芸術文化の振興にも積極的に取り組み、文化の薫り高い個性あるまちづくりを展開している。									
基本構想		温海町基本計画基本構想 平成12年9月14日議決 計画期間 H13～22年度				基本計画		第4次温海町総合計画 平成12年9月 計画期間 H13～22年度			
行政方針等	『自然・人・交流・“躍進するまち”あつみ』を将来像とし、5つの基本目標を定めてまちづくりを進めています。 自然とともに生きるまちづくり 快適さと幸せ感じるまちづくり 交流で産業が発展するまちづくり 思いやりあふれる福祉のまちづくり 人の和と創り育てるまちづくり					重点事業	・ 公共下水道整備事業 ・ 農業集落排水整備事業 ・ 合併処理浄化槽整備事業 ・ 中山間地域総合整備事業 ・ 新山村振興農林漁業対策事業 ・ 障害者支援事業				
都市宣言等		交通安全確保に関する宣言 暴走族追放宣言									
特色ある条例		温海町あつみっ子誕生祝金支給条例									
姉妹・友好都市		――									
普通会計決算状況 (百万円)(%)	区 分	歳入		地方税		地方譲与税	地方交付税	国支出金	県支出金	地方債	その他
	11年度	6,560 (100.0)		930 (14.2)		51 (0.8)	3,038 (46.3)	624 (9.5)	485 (7.4)	584 (8.9)	848 (12.9)
	12年度	6,044 (100.0)		878 (14.5)		57 (0.9)	3,170 (52.5)	331 (5.5)	428 (7.1)	352 (5.8)	828 (13.7)
	13年度	6,324 (100.0)		879 (13.9)		49 (0.8)	2,979 (47.1)	328 (5.2)	312 (4.9)	514 (8.1)	1,263 (20.0)
	区 分	歳出		人件費		物件費	扶助費	補助費等	普通建設事業費	公債費	その他
	11年度	6,458 (100.0)		1,182 (18.3)		751 (11.6)	702 (10.9)	749 (11.6)	1,069 (16.6)	996 (15.4)	1,009 (15.6)
	12年度	5,931 (100.0)		1,150 (19.4)		666 (11.2)	470 (7.9)	737 (12.4)	812 (13.7)	975 (16.5)	1,121 (18.9)
	13年度	6,208 (100.0)		1,151 (18.5)		679 (11.0)	498 (8.0)	750 (12.1)	1,193 (19.2)	974 (15.7)	963 (15.5)
	区 分	形式収支	実質収支	標準財政規模	地方債現在高	積立金現在高	実質収支比率	財政力指数	公債費比率	起債制限比率	経常収支比率
	11年度	102	92	3,877	7,544	1,435	2.4	0.261	15.8	14.1	88.8
12年度	113	113	3,856	7,182	1,566	2.9	0.247	15.2	13.5	86.3	
13年度	116	116	3,705	6,956	1,575	3.1	0.241	15.2	13.4	87.4	
公共施設設備状況		道路延長	道路改良率	道路舗装率	永久橋比率	上水道普及率		下水道等普及率		し尿衛生処理率	ごみ焼堆処理率
		120 km	71.4%	82.6%	93.2%	98.9%		49.3%		100.0%	69.8%
		公営住宅等	公園	人口一人当り公園面積		病院	診療所	公民館	保育所	児童館	幼稚園
		148戸	3ヶ所	0.5㎡ (行政区域内)		-	15ヶ所	30館	9ヶ所	2館	-
		小学校	中学校	高等学校	高専短大	大学					
		5校	1校	1校	-	-					
行事・祭等		温海町さくらマラソン大会 温海町サンセットビーチトライアスロン大会 あつみ温泉ばら園まつり									
名所・旧跡等		温海温泉 温海温泉朝市 ふる里物産館しゃりん 念珠の松庭園 近世念珠関址 名勝摩耶山 玉杉									
特産品・名物		温海かぶ 温海こけし 温海鬼布関川のしな織 温海染焼 焼杉細工 イカー夜干 一霞焼 越沢そば									
主要企業等		(株)萬国屋 (株)マルゴ 温海工業(株)温海工場									

温海町政の現状・方針等（概要）

1．行政運営の基盤としての集落

(1)地勢・歴史・生活

日本海に、ほぼ平行して注ぐ 4 本の河川沿いに、世帯数で最小 9 世帯から、最大 485 世帯の 29 集落が点在している。豊かな資源に恵まれ、コミュニティ意識が強い反面、集中的な施策展開を図りにくいなど、行政としての効率性を高めにくい一面がある。また、地に根ざして古くから引き継がれてきた資源や文化が多いという特徴がある。それらについては、将来に向けて引き継ぎ保存していく必要があると考える。

本町住民の生活基盤は集落にあり、しかも集落自治会イコール公民館分館、さらには消防団なども一体的に機能し、自主自立的な組織を形成している。行政の補完のほか、住民と行政のパイプ役を果たしている。伝統的な祭事のほか、独自のむらおこしイベントを実施するなど集落が自主的な運営を行ってきたが、生活サイクル、ライフスタイルの時代的な変化に伴い、新しい集落のあり方を求める声があり、集落の活力の問題は、時代の流れとともに、今後の本町地域の大きな課題となっている。景況からして、負担感のない生活空間のあり方が問われる時代にもなっている。

(2)行政運営

本町における集落の存在には大きなものがあり、行政運営にも深く関わり、連絡、広報、公聴、意見聴取など、包括的な住民サービス窓口を集落が担ってきたのである。また、行政は、集落が行う各種行事に対し、財政的・人的な支援を行ってきたが、近年は双方に過渡的な問題が顕在化してきたことから、将来に向け、その関係について、集落のあり方と併せて検討をはじめている。いずれにせよ、これまでの行政運営は、集落自治会を介在することによって行われてきたといえる。

行政運営の理念らしきものといえば、より住民に近いところに視点を置き、施策の構成に際し集落という地域で集約された意見を最大限に尊重するということである。だが、社会的な背景からして、今後に困難性が生ずることを危惧する大きな理由が、実はここに存し、行政システムとともに集落システムについても検討すべき時機にあると考える。

2．町の概要

(1)沿革・地勢

昭和 29 年に、温海町、念珠関村、福栄村、山戸村の 1 町 3 村が合併して誕生した。面積は 255.40 k m²で、うち森林が 89%、農用地 4%、宅地は 0.7%となっている。山林を背後に、日本海に面するとともに新潟県と接している。

(2)人口・産業

昭和 30 年と比較すると人口が半減するなど、過疎化が進行するとともに、約 50 年間で高齢人口と年少人口が逆転した。現在の高齢化率は、約 30%である。産業は、第三次産業が中心になっている。

(3)財政状況

歳入約 63 億のうち、地方交付税が 47%、歳出のうち公債費は 15.5%である。財政指標からしても厳しい状況にあるといわざるを得ないが、公債費負担適正化計画の下、その健全化を図っている。

3．総合計画

「温海町総合計画」は、平成 13 年度から平成 22 年度にかけての長期計画で、「自然・人・交流」をキーワードに、5 つの基本目標、27 の基本項目に分類整理し構成している。

概念的には、「自然を守りながら活用すること」、「人を育みながら未来を展望すること」、「広く交流するとともに地域・産業間連携を強化すること」という理念を土台としている。なお、平成 15 年度から平成 17 年度の実施計画における基本目標ごとの主な事業は、次のとおりである。

(1)自然とともに生きるまちづくり

・山五十川玉杉公園整備事業 [H16～17]

国指定の天然記念物「玉杉」の周辺整備

- ・ 景観づくり推進事業 [H15]

景観に配慮する街並みづくりの支援事業

(2)快適さと幸せ感じるまちづくり

- ・ 路面消雪道路改良事業 [H15～17]

山間地域の町道を計画的に消雪道路に改良整備

- ・ 携帯電話等不感地帯解消促進事業 [H15～16]

山間地域の情報通信格差解消のためのPHSアンテナ整備

- ・ 各種下水道関係事業 [H15～17]

公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽の計画的な整備

(3)交流で産業が発展するまちづくり

- ・ しいたけ生産体制整備緊急対策事業 [H15]

しいたけ生産体制強化のための施設整備

- ・ 観光施設整備事業 [H15・17]

観光サイン板のほか、給湯配管入替等温泉基盤施設の整備

- ・ 観光キャンペーン事業 [H15～17]

観光宣伝事業にかかる観光団体への補助支援

(4)思いやりある福祉のまちづくり

- ・ 特別養護老人ホーム増床事業 [H17]

特別養護老人ホーム「温寿荘」の増床整備

- ・ もみじが丘本場化整備事業 [H15]

知的障害者施設の自立、拡大整備

- ・ 障害者支援事業 [H15～17]

身障者、知的障害者の保護指導等

(5)人の和で創り育てるまちづくり

- ・ 未来創造人づくり事業 [H15～17]

講師がコーディネートする派遣研修、人材育成

- ・ 古典芸能収蔵庫建設事業 [H15～16]

山五十川歌舞伎、山戸能の衣装保存と展示施設整備

- ・ 小国城保存管理推進事業 [H15]

国の史跡に指定された小国城の整備調査

4．地域特性・資源

山・海・川・温泉という豊穡な自然に育まれる資源と、地域に根ざした伝統及びコミュニティ等が本町の地域特性であり、具体的な主たるものとしては、次のとおりである。

(1)伝統的工芸品

関川地区のしな織は、日本三大古布のひとつとされる貴重な資源である。しな織センターを拠点に協同組合を設立し、地域挙げての取り組みが行われている。今後は、さらなるグレードアップとPRに努めながら、安定性ある産業化を図るべく推進している。

そのほかにも、温海楽焼、一霞焼、温海こけしなどがあり、さらに近年は新たな試みを推進するため、町ではブランド商品開発に対し基金を設けながらの支援を行っている。

(2)伝統芸能

山五十川歌舞伎、山戸能、小国八幡宮弓射神事、木野俣獅子踊りなど多くの伝統芸能があり、それぞれ地域の努力によって引き継がれてきた。また、近年は若者の活動で、鼠ヶ関弁天太鼓が創生されるなど新たな展開も生まれている。これらは、地域コミュニティの形成に寄与しながら、観光イベント等にも積極的に参画するなどしている。

(3)食の資源

山海の珍味が豊富で、温海かぶ、そば、べろべろもち、きのこ、山菜のほか、鯛、たら、はたはた、あわび、牡蠣などの食材を新鮮なまま食することができるが、生産者・消費者ともにメリットが生ずる、より有効な活用が求められている。供給体制の整備や、二次製品として加工販売する産業化など、保有する資源を最大限に活用しながら提供していくことのできる体制づくりを模索している。

(4)観光と文化

歴史ある温海温泉は、本町の最大の資源だが、念珠の松庭園、玉杉公園などこれと連関する文化資源の整備も進めている。温海温泉の朝市を再整備しながら、景観をテーマにした「歩いて楽しい」魅力ある温泉街づくりに取り組んでいる。与謝野晶子、藤原清人など石碑も多い。また、

公設民営でスタートしてから 10 年を過ぎた道の駅「しゃりん」について、新たな活性化を図るべく検討を行っている。

(5) 社会資本

特にハード事業で整備したものとして、マリーナ、マリンパーク、総合運動場、スキー場などの施設があり、町内外の利用に供しているが、特徴的なものとしては、ふれあいセンターを拠点にした公民館のネットワークとして、町内 29 集落すべてに施設があり、多角的な活用をしている。なお、教育関係施設として、高等学校 1 校、中学校 1 校、小学校 5 校、保育施設が 9 施設ある。

5. 地域づくりの展望と役割

本町の総合計画を踏まえ、さらに当地域の特性や資源を考慮しながら将来を展望すると、本町の役割がおのずと浮き彫りになる。また、その前段として庄内南部をひとつの自治体として想定した場合、互いの資源と特性の共有化、そして機能を分担することは至極当然のことであろう。ただし、大まかな機能分担は現在の市町村単位としてとらえてもよいが、それらの垣根を越えたイメージもやがては検討する必要性が生ずる。その点については今後の検討に委ね、ここでは本町の地域づくりを次のとおり展望する。

(1) 山漁村資源の活用

庄内南部をさらに広い見地から眺めると、大都市圏にはあり得ない豊かな資源の上に成り立っていることに気がつく。すぐれた文化環境も、その恵まれた自然とともに、一体的に備わったものでないだろうか。とすれば、この資源を最大限に活用し、活性化と自立化を促進することが地域づくりのテーマになると考えるのである。

そうした意味で、まずもってとりあげたいのが、欠くことのできない食の部分において、資源を共有化して自立社会を目指すことであり、その分担として当地域は、主として山漁村資源を中心に担当したいとするものである。また、食に限らず、保有する資源を活用した産業としての確立を展望したい。

(2) 安らぎの空間づくり

人が究極的に求めるものは健康であり、特に高齢化社会にあっては健

康な高齢者に存分な活躍を期待したい。また、癒しと安らぎは、観光の商品としても需要が期待できる。

歩いて楽しいまちづくりはもちろん、自然を活用したりフレッシュメニユーを提供しながら、交流のステージを整備したい。新たに巨大なものを求めるのではなく、温泉、山歩き、魚釣り、海水浴など、既に保有する環境を上手く利用することによって観光客を招き、地域住民がくつろぎ安らげる地域として展開を図っていきたいと考えるものである。

このことについては、とりわけ「海」と「観光」について、民間の方々も含め市町村間の協調と連携を進める施策の展開が不可欠であろう。

(3)集落コミュニティの活性化

冒頭に記載したとおり、集落の活性化については、本町の今後の大きな課題となっている。人口の減少、少子高齢化は、直接的に集落の母体をおびやかすもので、すでに各戸の財政負担の問題が提起されているし、一人一役の建前から、一人多役という現実直面しているのが実状であろう。だが、信じがたい事件が頻発する病理的社会においてこそ、地域社会が生活と結びついていることが必要であり、改めて地域コミュニティを考えなければならない時代にあると考える。

そこで、少なくとも本町の中山間地域に現存するコミュニティのさらなる活性化に向けた施策を展望するものである。

6. まとめ

市町村合併こそ、地域と住民を守ることはもちろん、新しい真に自立した自治体をつくる契機である。それぞれが自己主張するのも結構だし、夢を存分に語るのが本分だろう。しかし、少なくとも、しっかりと地域に根ざした視点で議論し、将来の地域社会をしっかりと整備するという共通認識が求められるところである。

温もりのある活性と共生を自覚し、真の交流社会を実現することを目指し、どこにも負けない地方自治体をつくるという強い意識を持ってこの問題に取り組むものであり、国の具体的な方策等を見極めながらも、地域として今後どうあるべきか、構成する市町村間で徹底した研究・検討を行っていきたいと考えている。



温 海 町

平成14年12月26日

プロローグ

町名の由来:「温泉の温かい湯が川に流れ込み、
日本海を温めた」



温海町



温海町の祭典



御輿流し



山戸能



木野俣
獅子踊り

温海町



集落のイベント



しな織まつり



いかまつり

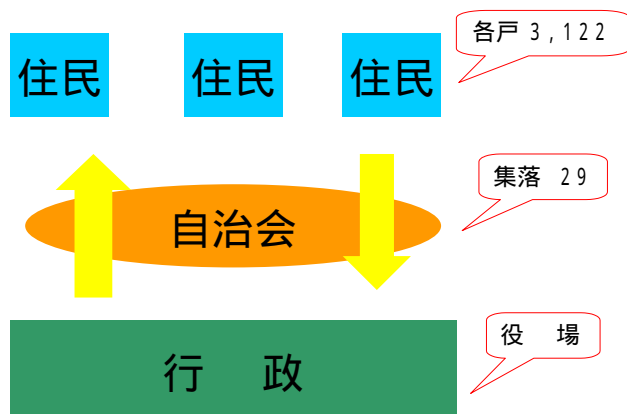


あかかぶ
まつり

温海町



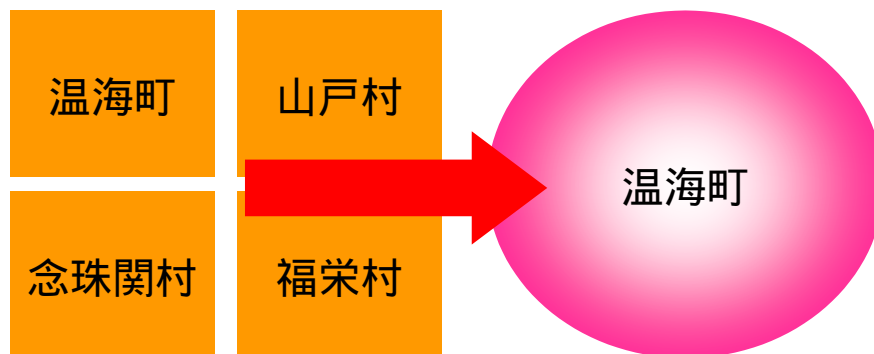
自治会の役割



温海町の概要

温海町の概要

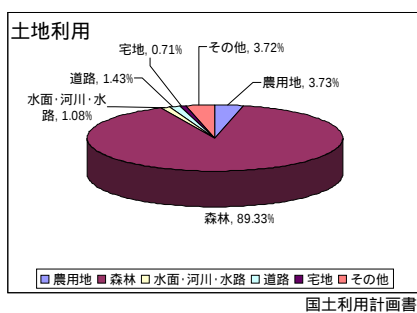
昭和29年12月1日新設合併



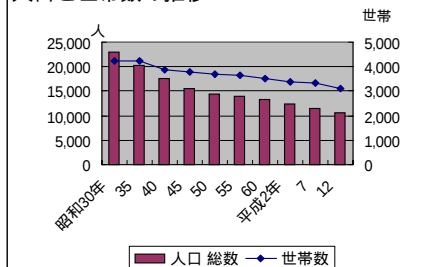
温海町



温海町の概要



人口と世帯数の推移



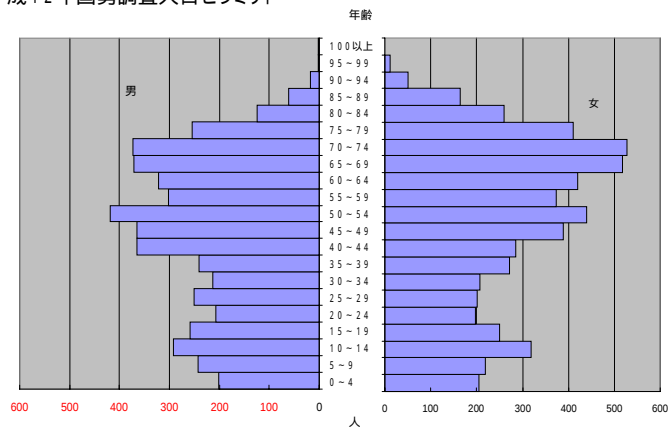
国勢調査

温海町



温海町の概要

平成12年国勢調査人口ピラミッド

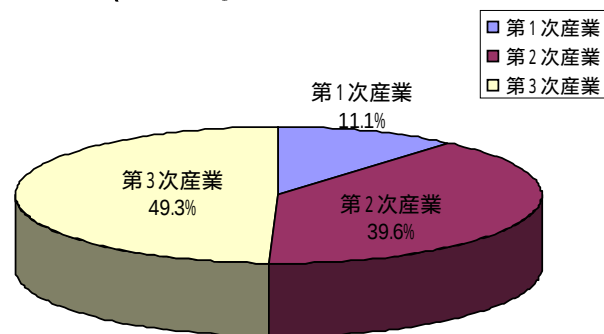


温海町



温海町の概要

平成12年国勢調査産業別就業者数
(15歳以上)



温海町



温海町の概要

単位：人、%

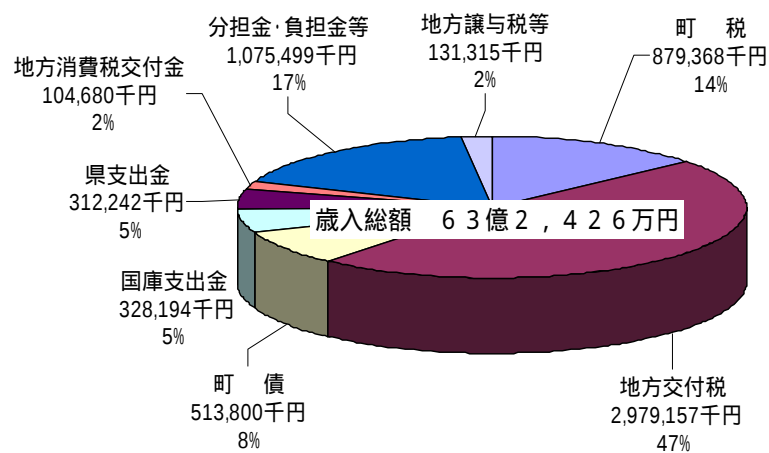
分	年次区	平成2年		平成7年		平成12年		
		総数	構成比	総数	構成比	総数	構成比	県内構成比
総数		6,392	100.0	6,063	100.0	5,332	100.0	順位
第1次産業		1,095	17.1	810	13.4	590	11.1	35
	農業	797	12.5	578	9.5	400	7.5	
	林業	57	0.9	27	0.4	26	0.5	
	漁業	241	3.8	205	3.4	164	3.1	
第2次産業		2,513	39.3	2,370	39.1	2,112	39.6	21
	鉱業	13	0.2	16	0.3	17	0.3	
	建設業	1,110	17.4	1,189	19.6	1,093	20.5	
	製造業	1,390	21.7	1,165	19.2	1,002	18.8	
第3次産業		2,784	43.6	2,883	47.6	2,629	49.3	12
	卸売・小売業・飲食店	929	14.5	875	14.4	813	15.2	
	金融・保険業	97	1.5	85	1.4	75	1.4	
	不動産業	7	0.1	3	0.0	5	0.1	
	運輸・通信業	192	3.0	188	3.1	214	4.0	
	電気・ガス・水道	10	0.2	12	0.2	15	0.3	
	サービス業	1,344	21.0	1,522	25.1	1,296	24.3	
	公務	205	3.2	198	3.3	211	4.0	
	分類不能人口		-	-	-	-	1	

資料：国勢調査

温海町



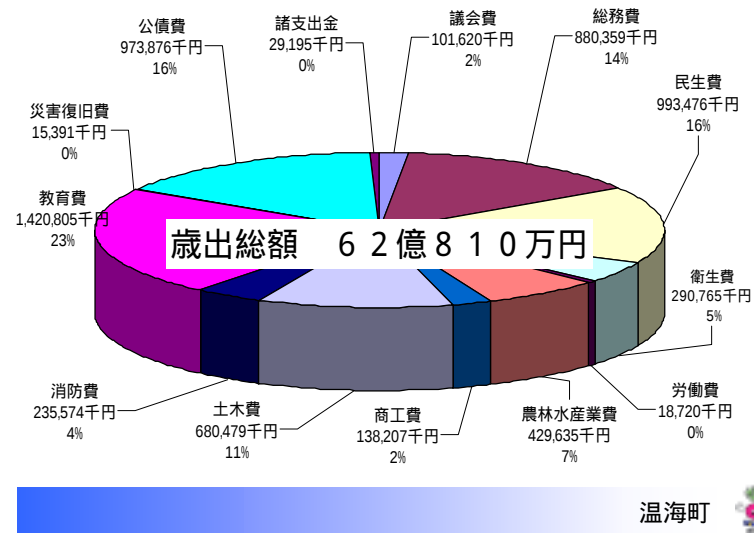
温海町の概要



温海町



温海町の概要



温海町の概要

財政分析指数 (単位: 千円、%)

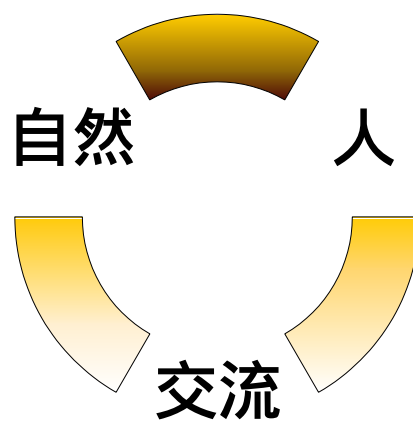
区分	13年度	12年度
基準財政収入額	825,941	826,053
基準財政需要額	3,454,253	3,598,245
標準財政規模	3,705,297	3,856,103
財政力指数(3ヶ年平均)	0.24	0.247
公債費比率	15.2	15.2
公債費負担率	21.2	21.0
起債制限比率(3ヶ年平均)	13.4	13.5
地方債現在高	6,955,613	7,182,008
経常収支比率	87.4	86.3

温海町



第4次温海町総合計画

第4次温海町総合計画



温海町



第4次温海町総合計画

自然 …… 守りながら活用する資源

人 …… 育みながら未来を支える資源

交流 …… 生き生きとした地域
をつくるテーマ

第4次温海町総合計画

第1章 自然とともに生きるまちづくり

第1節 公園

公園・広場の整備
庄内海浜自然公園の保全整備
健康増進・憩いの場の利用促進

第2節 景観

自然景観の保全整備
都市景観・農村景観の形成
公共施設のデザイン基調統一の推進



第4次温海町総合計画

第1章 自然とともに生きるまちづくり

第3節 国土保全

河川の砂防対策の促進
治山事業の促進
森林資源の保護、育成
海岸保全及び国土保全の促進
土地利用の確立



湯のまちリフレッシュ事業 葉月橋通り線

温海町



第4次温海町総合計画

第2章 快適さと幸せ感じるまちづくり

第1節 道路

日本海沿岸東北自動車道の整備促進
都市計画道路の整備促進
国・県道の整備促進
町道の整備
修景事業の促進

第2節 公共交通

JR羽越本線の複線化・高速化
生活路線バスの充実
庄内空港の利用促進



仮称温海インターチェンジ付近

温海町



第4次温海町総合計画

第2章 快適さと幸せ感じるまちづくり

第3節 情報通信

利用環境の整備
地域情報の集積と発信
情報通信格差の是正

第4節 防 災

消防体制の充実	自然災害対策の充実
海難事故防止対策の充実	防災情報伝達の充実
交通安全施設の整備	交通安全思想の普及
防犯運動の推進	

温海町



第4次温海町総合計画

第2章 快適さと幸せ感じるまちづくり

第5節 上下水道

水源の確保	安定供給を図る水道施設の整備
健全な水道経営の確立	地域条件に適應する下水道施設の整備
水洗化の普及促進	健全な下水道経営の確立

第6節 住宅・宅地

公営住宅の整備促進
住宅地の確保と分譲
定住促進のための支援整備
住宅環境の改善



温海町浄配水場

温海町



第4次温海町総合計画

第2章 快適さと幸せ感じるまちづくり

第7節 環境衛生

水質・土壌の保全
ごみ減量化の推進
ダイオキシン類対策
環境美化運動の推進



第8節 保健・医療

健康づくりの推進
各年代に応じた保健活動の充実
安心して受けられる医療体制の充実
国民健康保険財政の健全化と保健事業の充実

温海町



第4次温海町総合計画

第3章 交流で産業が発展するまちづくり

第1節 農 業

農業生産体制の確立	複合経営の推進
畑作の振興	畜産の振興
観光農業の展開	農業生産基盤の整備促進
関係団体の連携	

第2節 林 業

林業経営の合理化の推進	林業生産基盤の整備
木材のブランド化の推進・間伐材の有効利用	
特用林産物の振興	国有林の活用
観光と連携した事業の展開	
関係団体の育成と後継者・担い手対策の充実	

温海町



第4次温海町総合計画

第3章 交流で産業が発展するまちづくり

第3節 水産業

資源管理型漁業の振興
漁港・海岸の整備
観光と連携した事業の展開
関係団体の育成と後継者・担い手対策の充実

加工流通体制の整備
内水面漁業の振興



大漁旗フェスティバル

第4節 観光

魅力的な地域の環境づくり
観光ニーズに対応するサービス対策の確立
町内観光施設の整備充実と周遊型観光の確立
独自性のある観光資源の掘り起こし
効果的な観光宣伝の推進

温海町



第4次温海町総合計画

第3章 交流で産業が発展するまちづくり

第5節 商工業

商業拠点の整備促進
既存企業の育成
雇用確保の推進

観光商業の育成
労働者福祉の推進



観光と物産展

第6節 企業

工場適地の確保
企業立地の支援
大学など研究機関との連携

温海町



第4次温海町総合計画

第4章 思いやりあふれる福祉のまちづくり

第1節 児童・母(父)子福祉

家庭への子育て支援の充実

保育サービスの充実

遊び環境づくりの推進

児童環境づくりの推進



温泉荘

第2節 高齢者福祉

介護保険事業の充実

介護予防・生きがい対策の充実

生活支援体制の充実

家族介護者支援体制の充実

社会福祉施設の整備

温海町



第4次温海町総合計画

第4章 思いやりあふれる福祉のまちづくり

第3節 障害者福祉

地域との共生の推進

社会的自立の促進

健康な暮らしを支えるための制度の充実

豊かな生活を送るための制度の充実



愛楽園

第4節 地域福祉

地域福祉活動の展開

地域福祉ネットワークの形成

温海町



第4次温海町総合計画

第5章 人の和で創り育てるまちづくり

第1節 生涯学習

生涯学習推進体制の確立
生涯学習関係施設の整備
ボランティア活動の推進



マナビィー

第2節 学校教育

児童・生徒の健やかな心身の成長の促進
学校教育施設の整備
学校給食の充実
鶴岡中央高校温海校との連携

温海町



第4次温海町総合計画

第5章 人の和で創り育てるまちづくり

第3節 社会教育

社会教育活動基盤の充実
社会教育活動の推進
学習機会の提供
芸術文化の振興
文化財の保護保存



FJ級ヨット

第4節 社会体育

町民総スポーツ活動の推進
指導者の育成と資質の向上
体育施設、整備の充実
シンボルスポーツ「ヨット」の普及

温海町



第4次温海町総合計画

第5章 人の和で創り育てるまちづくり

第5節 国際交流

国際感覚豊かな人材の育成
日中友好都市交流の推進
国際交流活動の支援



鹿児島県大隅町で

第6節 集 落

集落自治の確立
集落振興への行政支援

温海町



第4次温海町総合計画



FJ級ヨット世界選手権



中学生の中国派遣

温海町



第4次温海町総合計画



さくらまつりマラソン

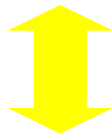


トライアスロン大会

温海町



第4次温海町総合計画



温海町行政改革大綱

- ・ 効率的な組織機構
- ・ 適正な財政運営
- ・ OA化の推進
- ・ 行政の透明性の向上
- ・ 広域行政の推進



温海町





これからのまちづくり

温海町の資源 関川のしな織



しな織

しな織製品



温海町



温海町の資源 越沢そばと摩耶山



越沢そば

霊峰 摩耶山



温海町



温海町の資源 小国弓神事とふれあい村



小国弓神事

小国ふるさとふれあい村



温海町



温海町の資源 山五十川歌舞伎と玉杉



山五十川歌舞伎

山五十川の玉杉



温海町



温海町の資源 あつみかぶ



焼畑



かぶの収穫



種の採取

温海町



温海町の資源 鼠ヶ関



近代念珠関図

念珠の松



温海町



温海町の資源 寒だらと赤かぶ



寒だら漁

赤かぶ



温海町



温海町の資源 あつみ温泉



桜並木

朝市



温海町



温海町の資源 湯のまちリフレッシュ事業



温海町



地域づくりのテーマ

豊穰な自然に育まれる山漁村資源の活用

癒しと安らぎの空間づくり

集落コミュニティの活性化

温海町



山漁村資源の活用

庄内南部



サイエンス
バイオ

温 海

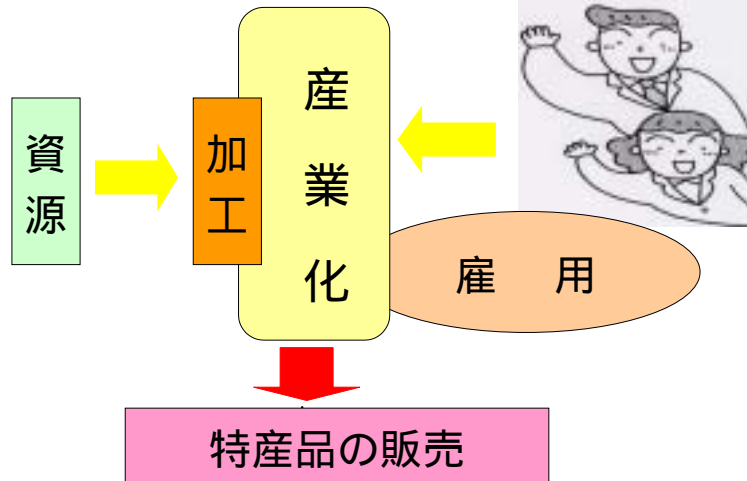


地産地消
自給自立

温海町



山漁村資源の活用



温海町



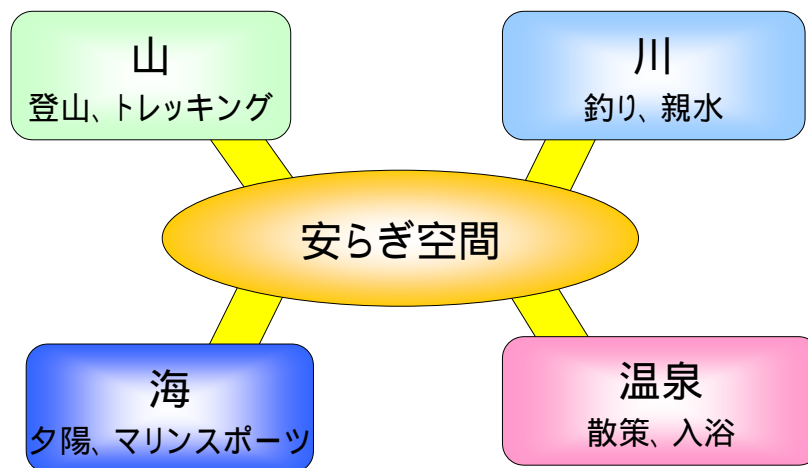
癒しと安らぎの空間づくり



温海町



癒しと安らぎの空間づくり



温海町



「道の駅」しゃりん



「道の駅」しゃりん



しゃりん夕陽能

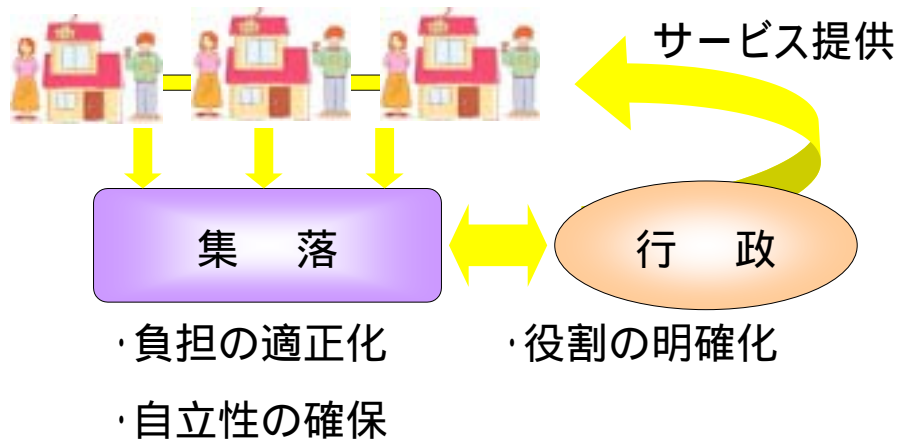


日本海に沈む夕陽

温海町



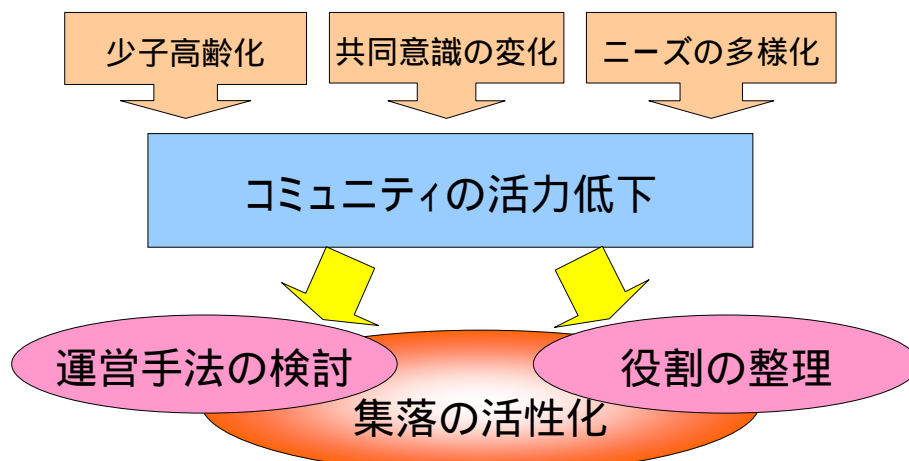
集落コミュニティの活性化



温海町



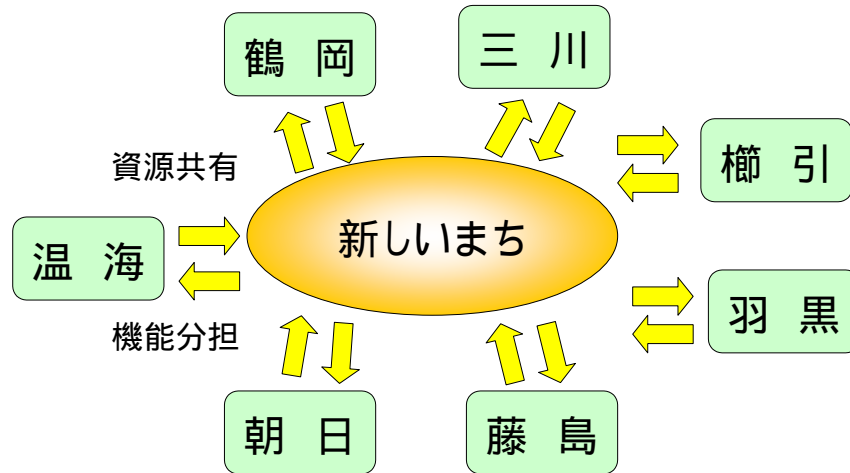
集落コミュニティの活性化



温海町



総合的なまちづくり

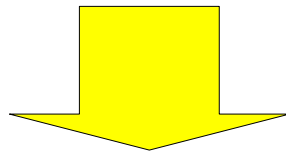


温海町



総合的なまちづくり

温もりある活性と共生



真の交流社会の実現

温海町





ご清聴ありがとうございました。